

人権だより

平成30年2月1日

# はじけるえがお!



横浜市立大口台小学校 校長 田川 齊史

## 「ありがとう」のお返しはいつも「笑顔」

先日の大雪の翌朝、たくさんのまちのみなさんが道の雪かきをしてくださいました。道行く方々がみなさん「ありがとうございます。」と声をかけ、その声に笑顔と一緒に「行ってらっしゃい。気を付けて。」と返していってらっしゃいました。朝早くから重く湿った雪をかくのはとてもたいへんです。でも、「ありがとう」のたった一言に、「辛いなあ。」「きついなあ。」「イヤだなあ。」の気持ちが吹き飛んでしまうのでしょうか。学校だけではなく、ぜひご家庭でも、いや周りにいるすべての大人が「ありがとう」と「笑顔」の環境をつくっていききたいものです。どうぞよろしくをお願いします。

人権教育はすべての人、一人ひとりを大切にする姿勢が基本です。この考えを基盤として、学校教育目標「わくわくトライ大口台」の具現化を目指した教育実践を進めています。

「くちなし」

星野 富弘

鏡に映る顔を見ながら思った

もう悪口をいうのはやめよう

私の口から出たことばを

いちばん近くで聞くのは私の耳なのだから

《10月の朝会で子どもたちに紹介した詩です》

## 全校の取組：「いじめがない子ども社会」をつくるために

盲特別支援学校の和内正也校長先生による朝会での講話では、学校に通っている子どもたちがどんな困り感をもって生活しているのか具体的に知ることができました。小さなことでもできることを見つけていこうとする気持ちをもつことができました。

また、運営委員会の子どもたちによる劇や〇×クイズを通して、どのような言動がいじめにつながるのか理解できるようにしました。いじめは絶対に許されないということ、遊びのつもりでやってもやられた人が「つらい」と感じていたらいじめであること、いじめをはやしたてたり見たりしているだけでもいじめていることと同じだということ学びました。そして、「いじめがない子ども社会」をつくるために自分自身ができることを考え、一人ひとり「行動宣言」を書きました。廊下に掲示をし、お互いの考えについて知ることができました。



## 各学年の取組：「友達との関わりについて考えよう」

各学年の実態や次のテーマに沿って授業を行いました。各学年の取組の内容を紹介します。

### 各学年のテーマ

- 1年・・・友達のよいところを見つけよう
- 2年・・・友達のよいところを見つけよう
- 3年・・・友達の考えも大切にして、よさを認め合おう
- 4年・・・友達の考えを認め、自分ができることを見つけよう
- 5年・・・考えを認め合い、自分ができることを行おう
- 6年・・・互いの人権を尊重し、自分のよさを発揮しながら行動しよう